

まちづくり懇談会記録

| | |
|------|-----------------------------|
| 開催日時 | 令和2年2月6日(木) 午後6時00分～午後7時00分 |
| 場 所 | 本町地区生活館 |
| 出席者等 | ○市民参加者：男性13名 女性 3名 合計16名 |

会議の概要

1 開会 【総務部長 司会進行】

2 市長あいさつ

○荻原市長あいさつ

皆さんこんばんは。お忙しい中にありまして、こうして出席いただきありがとうございます。一昨日から14日にかけて、市内11か所において直面する2つの課題を中心にご意見を交わしていきたいと考えているところです。

今、大変心配していますのは、今日もマスクをしている方も見られますけれども、世界的に、道内そして国内においても感染が見られる新型コロナウイルスであり、予防対策をしっかりとしていかなければならないと思っています。合わせまして、雪が非常に少ない状況であり、今朝の北海道新聞におきましても報道されておりましたが、芦別でも積雪量の記録的な少雪状態が続いているところでございます。降雪は8割ぐらいあるようですが、積雪が平年の半分以下となっています。寒気が続かないということで、暖冬の影響もあるかもしれませんが、結果的に異例な状態となっています。このまま推移しますと、農家の皆さんにとって大変な被害が出るのではと懸念しています。越冬作物、水稻栽培、花卉栽培にしましても、状況を見ながら必要な対策はしっかりとしていかなければならないと考えております。

また、JRの不通が続いていました芦別富良野間が昨日、野花南の架道橋の改修を終え、平常通り運転が再開され、朗報であると感じているところです。

そういう中におきまして、先ほど司会からご案内申し上げたとおり、市立病院の今後のあり方と合わせ、庁舎の関係等ついて議論を進めさせていただきたいと思っております。

詳細については担当からご説明申し上げますけれども、市庁舎は、築後50年が経過しており、老朽化が進んでいる状態とあわせ、耐震が整っていない状況です。土地柄として地震が少ないところではありますが、震度6強で倒壊の恐れがあるという状況であり、将来にわたって市民の皆様が必要とされます行政サービス、防災の砦としても機能をしっかりと保全していかなければならないということが、行政として求められているわけでありまして。したがって長期的な観点に立って、建て替えが最善であると考えておりますが、多大な事業経費を要することもございますので、国の支援もさることながら、市の財政面も十分念頭に入れて検討を加えて行かなければならないと思っています。

もう一つは市立病院の事ですが、常勤医師の不在、あるいは人口の減少等々で、厳しい経営環境下におかれているところでございます。昨年、厚労省から全国で424の病院、道内においては54の病院を再編・統合の対象とするという公表があり、芦別市も中空知で唯一対象となったわけでございます。これを受けて、市民の皆さんから、市立病院がなくなるのではないかという心配の声をお寄せいただいたところですが、なくすことがあっては、市民の安全・安心な暮らしに大きな影響を及ぼしかねませんので、そういった観点から、先月25日に有識者で構成します検討委員会から、昨年の2月から

今年1月までの一年間かけ検討をいただいたあり方についての答申を受けました。内容については、後ほどご報告いたしますけれども市としても答申をしっかりと受け止め、市立病院の持てる医療資源、他の病院との連携も視野に入れながら、実情に見合った医療を提供できる病院として維持・存続させていこうと考えております。そのためには、市民の皆さんから市民の病院として認識をしていただいて、サポートをしていただくことも必要なことであると思っています。

これらのことなどについて、改めて皆様から忌憚のないご意見等をいただきながら、有意義な懇談の場となりますようお願いを申し上げ、開会にあたってのあいさついたします。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 説明事項【担当者より説明】（資料添付省略）

- (1) 芦別市総合庁舎建設基本構想（素案）について
- (2) 市立芦別病院のあり方検討委員会の答申について
- (3) その他
 - ・北森カレッジの本市での実習について
 - ・新型コロナウイルスの対策等について

4 意見交換

○市民

庁舎は何階建てを予定しているのか、職員の規模ももちろん、人口が減っていく中で、従前と同様の機能を持たないといけないと思いますが、市民対応をどうするのか、職員も減っていくだろうし、今の機能をそのまま持つていくのでしょうか。

●危機対策課長

階数については、RC造りで3階建てを予定しています。将来的に人口が減った場合の役所の規模については、今のところは令和5年の職員数を基準に考えていますが、将来的に減っていくことが予想されます。減った場合は、レイアウトを間仕切り等で自由に変更できるものとし、空いたスペースに他の公共施設や民間施設等、必要とされるものを取り入れていきたいと考えています。

○市民

多目的性を含んだ中で建設するというのでいいのですか。また、それは、庁舎全体としての考え方なのか、一定部分のみをそのように考えているのでしょうか。

●危機対策課長

どうしてもできない部分はあると思いますが、全体として考えています。

○市民

どの事業でも予算のとおりに進まないで、年数が経てば経つほど予算規模が大きくなってしまいますが、この構想での数字はある程度幅を持ったものなのですか。

●危機対策課長

実施設計の段階で物価が変わっていることとなりますが、現在のところは、35億の範囲で収めたいと考えています。

○市民

エレベータは荷物運ぶのに必要ですが、エスカレーターという考えは持っていないのですか。エレベータが一番いいのかもしれませんが、感知して動くものがありますので、予算も変わるかもしれないどうなのかなと思います。他のまちの状況を見ても、芦別の庁舎は古いので、建てるとした場合は、少ない予算の中から相当のお金を出していくことにな

ります。それはそれでいいけれども、市民の生活に関する不安が生じないような形で進めてほしい。

●危機対策課長

今のところエスカレーターは、面積が増えるので考えていませんでしたが、持ち帰って検討したいと思います。

●総務部長

庁舎を建てることによって、市民の行政サービスの低下を心配されている声をいただきました。確かに三十数億という高額な予算となっていて、これをやることにより、市民サービスが他のまちより劣るようなことがあってはいけないと考えています。従いまして、庁舎については、できるだけコンパクトに費用もどれくらい抑えることができるのかを考えていきたいと思っています。

○市民

鉄筋コンクリート造となっているが、芦別は木のまちとして林業学校のことも含めて、林業のまちとしての取組があります。割高になるかもしれませんが、目玉として出すことも考え方は持っていないのですか。

●危機対策課長

現状では、鉄筋コンクリートとして、内装に木を使用して芦別らしい庁舎にしたいと考えています。

○市民

市立病院に関して、経営形態の中に事業管理者を置いてとありますが、個人なのか法人なのか、どのようなものをイメージしていますか。

●病院事務課長

事業管理者は、全部適用している病院の多くは医師が個人として行っています。また、院長がそのまま事業管理者になっている場合もありますし、院長の上に事業管理者を配置している病院もあります。道内では、院長が兼ねているといった方が多いかもしれませんが、複数の病院を持っているところでは事業管理者を設置しているのが実態です。

○市民

道内で54の病院が統合してはどうかとなり、その中に芦別市が選ばれたということですが、周りに歌志内とか赤平とかありますが、患者が少ないとか赤字が多いとか、芦別が選ばれた要因を教えてください。

●病院事務課長

再編・統合リストは、平成29年6月の診療実績をもって、手術が何件で救急をどれくらい受け入れているかなどの調査結果を基として国により判断されました。中空知には5市5町あり、6つの公立病院があります。芦別のほか、赤平、滝川、砂川、歌志内、奈井江となっていて、このうち、歌志内と奈井江は、急性期をやっていない慢性期の療養病棟のみなので対象から除外となり、残り4つの病院のうち芦別が該当になったということです。砂川と滝川は大きい病院なので、診療実績があるのはわかると思います。赤平との違いが何だったかということ、9項目すべてで診療実績が少ない場合に対象となったのですが、赤平はガンという項目に実績があったため対象になりませんでした。赤平には外科医がいるので、ガンの手術の実績があったということです。芦別には外科の先生がいなかったのが対象になってしまった。大きく区分するとそういう内容になります。

なお、道内の市立病院では、芦別と美唄、三笠、旭川とが対象になっています。旭川は、診療実績ではなく、近くに類似の病院があるからという理由です。

○市民

今年は雪が少なくて楽をしているのですが、毎年降る雪の量は大体同じだという話があ

ります。今後、まとまった雪が降ることもあると思うが、その際には排雪等の予算はあるのですか。

●総務部長

これからどのくらいの雪が降るのかはわかりませんが、降雪が多い場合は、除雪・排雪を行うことになると思います。予算がない場合には、補正予算を組むなどして対応していきたいと考えています。

○荻原市長あいさつ

お疲れの中、最後まで熱心にお聴き取りいただき、貴重なご意見をいただきありがとうございます。市立病院や庁舎につきまして、いただいた意見はしっかりと検討したいと考えています。気候変動に伴う雪の対応についても意見をいただきました。どういう形になろうとも、市民の皆さんの生活や交通、安全・安心のために対応しなければなりませんし、市内の経済も回していかなければなりませんので、スピード感をもって、議会の皆さんに相談をする際には補正予算等の対応を図っていきたいと思っています。

一つ申し上げさせていただきますと、この4月から芦別の10か年のまちづくり指針となる第6次総合計画がスタートいたします。

将来像は、時には唱和いただいています芦別市民憲章に準じて「みんなで築く 豊かで住みよい 人と文化の輝くまち」と掲げており、第一歩が令和2年度の予算となります。この予算についても大詰めを迎えていまして、計画が一步でも前に進んでいけるように、市民の皆さんの安全・安心な暮らし、経済を振興させようという考えに納得いただけるような予算編成に努めて参ります。

これからも、皆さんと一緒に考え、市政に関してまちづくりに関して力を合わせ、まちを地域を元気にしていければと思っています。職員も一丸となって頑張っまいりますので、引き続き皆さんのご支援とご協力をお願いしたいと思っています。

気候の変動もありますが、今日は今年一番冷え込んだようでありまして。札幌管区气象台によりますと、これが10日までは続き、11日からは気温が上がるということです。気温に高低差があるので、体調管理には十分ご注意くださいと思います。今日は、最後までお付き合いいただきましたことに、改めて感謝を申し上げ閉会の挨拶とします。

5 閉会

以 上